



自然を傷つけない

自然には強い自然と弱い自然があります。例えば、タンポポのお花畑に30人が座って草が倒されても、これらはすぐに復活しますが、尾瀬の湿原に踏み跡をつけたら、そのダメージは計り知れません。「自然しらべ」に出かけるときは、その対象が強い自然か弱い自然かを見極めると共に、自然へのダメージが最小限で済むような手法を考えましょう。また、採集行為も場所や採集の対象の選定に十分配慮しないと自然を傷つけることになってしまいます。採集してしまっただけではその生物が本来生きている姿を観察することができなくなりますし、後からやってくる人の観察の機会も奪うことにもなります。自然とふれあうことを目的とするならば、採る量や生き物の種類、場所をわきまえた上で遊ぶか、採らずにその場でゆっくりと観察しましょう。

ゴミは持ち帰る

ゴミは家まで持ち帰って処理しましょう。ゴミは景観を壊すだけでなく、食べ残しなどのゴミに野生動物が餌付いてしまったり、誤ってビニールを飲み込む動物がいたり、小さな昆虫は空き缶の中から出られなくなってしまうこともあります。生態系のバランスに悪影響を与えるのです。ゴミは責任を持って持ち帰り、またゴミ拾いをする。それは身近なところから始められる自然保護です。

安全対策 ～指導者の方へ～



自然の中で活動すれば、それなりに危険が伴います。また、現在の法律では、ボランティア活動であっても指導者が「危険を予測し回避する」責任を果たさなければ、過失責任を問われることとなります。しかし、「危ないから自然の中に出でいかない」のでは、いつまでたっても本当の意味で自然に親しむことは出来ません。自然の中に潜む危険を熟知し、対処の仕方を身につけることは、自然と共に生きていくために必要不可欠なことです。

まず、予防のためには、指導者が危険因子をよくわかっていなければなりません。自然の持つ危険因子のうち、危険な生物については、フィールドガイドシリーズ「野外における危険な生物(平凡社)」が出版されていますので、参考にすると良いでしょう。また、気候や地形地質などに起因する危険は、重大な事故につながることもあるので、事前に情報収集したり地元の人の意見を聞いたりして、十分に予備知識を持っておく必要があります。さらに、下見をして、コース中に危険箇所がないかどうか、念入りに調べておきましょう。日赤などの機関で、救急法の講習会を開いているので、受講しておくことをお勧めします。そして実際に「自然しらべ」を行う際には、自然の持つ危険因子とそれへの回避や対処法を極力メンバーに伝え、いざというときには、絶対に注意を聞いてもらうという信頼関係を持てるようにしましょう。

救急用品

消毒薬、虫さされの薬、滅菌ガーゼ、カットバンなどひとまとめに持って歩きましょう。

医療機関

当日の医療機関はあらかじめ調べておきましょう。特に休日は特別の医療機関しか開いていないことが多いので注意してください。

保険

野外活動中の事故による医療費等を担保してくれる「行事災害保険」が各保険会社で取り扱われていると思います。「自然しらべ」に出かける際は、必ず保険をかけるように心がけましょう。自然観察は危険行為をとまわらないので保険料は比較的安くて済みます。

NACS-J 自然観察指導員とは

地域に根ざした自然観察会を開き、自然を自ら守り、自然を守る仲間をつくるボランティアリーダーです。日本自然保護協会が1978年に自然観察指導員の養成講座をはじめて開いてから2002年で24年、受講者は1万8千人を超えました。

豊かな自然を豊かなまま次の世代に渡すという自然保護。そのはじまりが自然観察です。

じーっと見る→見えてくる→わかる→うれしい。\*

このうれしさが自然を愛する人を増やし、自然保護運動につながり、やがて社会システムを変える大きな原動力となるのです。ひとりでも多くの人に自然を愛し、守ってもらうために。自然観察指導員はライフワークとしてボランティアで地域の自然観察会を開催しています。これが私たちの考える「自然保護教育の実践」です。

※「テオリア」青柳昌宏 / 筑摩書店より抜粋

NACS-J自然観察指導員講習会へご参加下さい

鳥や花の名前を覚えることが目的ではありません。自然のしくみ、自然のつながり、人が自然と今後どのように関わっていったらいいのかなど、自然を守るために必要な視点を身につけるのが目的です。

お勤めの方でも参加しやすいように金・土・日の2泊3日が原則です。3日間とも昼間は野外実習。夕食後に3時間の講義。毎年全国各地で10数回開催しています。3日間の講習会を修了し登録申請すると、日本自然保護協会の自然観察指導員として登録され、登録証、腕章、ネームプレートが渡されます。登録にあたって、会報を通じて情報提供や全国の自然保護の状況を把握していただくためにも、日本自然保護協会会員になっていただきます。

参加資格

満18歳以上で、2泊3日の講習会を受講できる方。  
自然観察指導員として、地域の自然観察会活動をすすめる意欲をもった方。

費用

参加費は約2~4万円です。  
(受講料、保険料、初年度登録費、宿泊費、食費を含む)  
宿泊費などが開催地によって異なります。開催地までの交通費は自己負担となります。NACS-Jの会員でない方は、これに加えてNACS-J個人会員としての年会費5千円が必要となります。

講習会スケジュール

- 1 12:30 受付・開講  
13:30 野外実習「自然のしくみを見に行こう~森を通して」  
19:00 室内講義「自然保護を考える」  
22:00 終了
- 2 9:00 野外実習「地域の自然を理解しよう」  
13:00 「自然観察のテーマを考えよう」  
18:30 室内講義「自然の観察」  
22:00 終了
- 3 7:00 野外実習「自然観察会のテーマ探しとプログラム作り」  
9:00 野外実習「実際に自然観察指導をしてみよう」  
11:30 まとめ、閉講

お問い合わせ先：日本自然保護協会 普及広報部  
TEL 03-3265-0525  
Eメール fukyu@nacsj.or.jp

